フォトダイアリー
Photo Diary

今月の表紙
川俣の元服式

国の重要無形民俗文化財にも指定されている川俣の元服式が、1月25日(日)、地区の自治公民館で行われました。

この元服式では、数え年で20歳になる川俣出身の男子が後見人となる夫婦と親分・子分の契りを結びます。川俣では、昔からこの儀式で地区の結束を強めてきました。当日は、川俣小・中学校の在校生が見学に訪れたり、式の後には川俣の伝統芸能である三番叟(下写真)や恵比寿大黒舞、小・中学生による花笠踊りが披露されたりと、地区を挙げて門出を祝いました。

今年は、手塚順平さんが元服式を迎えました。元服式を終えた感想を伺うと、「成人と見なされるからには、今後は自分の行動に責任を持たなければなりません」と力強く答えてくれました。また、祖父の手塚彦二さんは、「この日を楽しみにしてきたので、うれしいの一言です」と笑顔で話してくれました。

春節祭

春を思わせる暖かい日差しに恵まれた2月7日(土)・8日(日)の2日間、鬼怒川温泉駅前広場で春節祭が開催されました。

第3回となるこのお祭りは、異国情緒あふれる飾り付けと、郷土芸能をはじめとするアトラクションや各種イベントで、鬼怒川温泉を訪れる観光客と一緒に旧正月を祝うものです。

特設ステージでは、龍王太鼓や中国雑技団ショーなどが披露され、会場は歓声や拍手に包まれました。特に、つきたておもちの無料配布コーナーは、順番待ちの長い列ができるほどの盛況ぶりでした。また、羽根つきや輪投げ、けん玉など昔ながらの遊びの体験コーナーでは、懐かしそうに遊具を手に取る大人の姿や、夢中で遊ぶ子どもたちの笑顔が見られました。

観光で訪れた佐々木さん(越谷市)は「軟らかくておいしいおもちでした。昨年の2月にも鬼怒川へ来ましたが、今年は暖かくていいですね」と話してくれました。

さと山パトロール隊発足式

2月9日(月)、さと山パトロール隊発足式が行われました。

さと山パトロール隊は、野生鳥獣を寄せ付けない環境づくりのため、飼い犬との散歩を兼ね、周辺の農地や山林境界付近、通学路をボランティアでパトロールします。

斎藤市長からは、隊員の方へ「さと山と同時に、児童の安全安心のため、パトロールをお願いします」とあいさつがありました。

小学校氷上体育大会

2月10日(火)、小学校氷上体育大会が開催されました。

この大会は、旧日光市で行われてきましたが、合併した平成18年度からは、市内全域の小学校を対象に開催されています。今回は13校から383名の児童が参加しました。

当日は晴天にも恵まれ、応援に訪れた家族の声が会場に響いていました。

日光フォトコンテスト公開審査会

1月24日(土)、藤原総合文化会館で日光フォトコンテストの公開審査会が行われました。審査員を務めた写真家の丹地敏明さんは、たくさんの写真愛好家が見守る中、全ての作品に真剣に目を通していました。審査の結果、351名が応募した合計907点の作品の中から、50点の入賞作品が選ばれました。

最優秀賞を受賞した江連章雄さん(塩谷町)は、「この日はかなり冷え込みましたが、1時間くらいアングルを考えて撮りました。受賞を聞いたときは、まさか自分がと驚きましたがうれしかったです」と話してくれました。

また、日光杉並木賞を受賞した手塚幸雄さん(今市)は、「杉並木の写真で花が咲いているものがあまりなかったので、今までとは違うものをと思い、霧が出た朝を狙って撮影しました」とコメントしてくれました。

審査会の最後に丹地さんは、「自分がメッセージを送りたいと思うポイントにピントを合わせ、心で感じて撮ることが大切」と話していました。入賞作品は、今後、市内外で展示される予定です。

①テーマ賞「滝」を受賞した石川晶子(宇都宮市)さんの作品「ゴザ池沢」。 ②江連さんの作品「氷木の華」。 ③手塚さんの作品「白百合咲く」。
※作品の写真は、雰囲気を壊さないように加工処理して掲載しました。

骨髄移植講演会

2月7日(土)、市骨髄バンク登録推進協議会主催により、獨協医科大学医学部の杉田憲一教授が「こどもの病気の見方」と題して講演を行いました。これは、骨髄移植などについて、市民の方に、もっと理解していただきたいとの願いを込めて行われたものです。

講演では、子どもの身近な病気の話も多くあり、参加された方は真剣に聞き入っていました。

光輝く氷のぼんぼりとかまくら祭

湯西川の冬の風物詩である、光輝く氷のぼんぼりとかまくら祭。今年も1月24日(土)から3月8日(日)までの予定で行われています。

メイン会場には、大人が5、6人入れる巨大なかまくらが出現。訪れた人たちは、写真を撮ったり、中に入って食事をしたり、とても楽しそうに過ごしていました。また、そり滑りが楽しめるジャンボ滑り台もあり、子どもたちは何回も繰り返し滑っていました。

夜になると、かまくらに明かりがともりライトアップされ、昼間とは違った幻想的な雰囲気が会場内を包み込みました。別会場でもミニかまくらに明かりがともされ、観光客の方々は夜の湯西川も満喫していました。

埼玉県から訪れた金子さん一家は、「かまくらの中に初めて入りました。中は風もなく暖かいし、そこで取った食事は格別でした。子どもたちは雪だるまやミニかまくらを作り大喜びです」と話してくれました。

子どもたちに大人気のジャンボ滑り台。

農業士に認定 【1/9・今市】

関根直人（せきねなおと）さん（大室）と田中一広（たなかかずひろ）さん（町谷）が農業士に認定され、県公館で県知事から認定証が交付されました。

これは、地域農業の振興と青年農業者の育成に取り組んでいる優れた農業経営者を、農業者のシンボルとして県が認定する制度です。

関根さんと田中さんの、これからの農業士としての活躍を期待いたします。

関根さん夫妻　田中さん夫妻

文・写真：農林課

今市消防団が出前講座を開催 【1/14・今市】

猪倉小学校の5・6年生を対象に出前講座を開催し、地元の消防団である今市消防団第4分団の団員が、礼式訓練や消火訓練などを児童の前で披露しました。

また、放水体験やはしご車への乗車体験、消防車の展示なども行い、普段なかなか見ることのない消防団の活動について勉強しました。

文・写真：今市消防団

消防団協力事業所表示証交付式 【1/23・今市】

昨年4月1日に施行した日光市消防団協力事業所表示制度。この制度は、団員確保や消防活動がしやすい環境づくりに協力していただける事業所を対象に表示証を交付するものです。

今回は、下半期に申請のあった市内の10事業所に対し、表示証を交付しました。

なお、申請は消防本部総務課で随時受け付けています。

文・写真：消防本部総務課

鬼怒川温泉鬼まつり 【1/31～2/1・藤原】

今年で9回目となった鬼怒川温泉鬼まつりが開催されました。

初日は雨と風のため、楽しみにしていた大ガラマキ大会が中止となってしまいましたが、訪れた方たちは、赤鬼のKINU（きぬ）ちゃん・青鬼のKAWA（かわ）ちゃんと写真を撮ったり、振る舞われたチタケご飯やカモ汁に舌鼓を打ったりしていました。

文・写真：鬼怒川・川治温泉観光協会

今市少年少女合唱団定期演奏会 【2/8・今市】

今市少年少女合唱団では、今市文化会館で第27回目となる定期演奏会を行いました。今回はオペレッタ版「シンデレラ」を公演し、大盛況でした。

合唱団では、合唱だけではなく、ボランティア活動なども行っています。団員は、さまざまな活動を通して、歌以外にも人として大切な心を学び、大きく成長しています。

文・写真：中央公民館

親子で集う人形劇 【2/8・日光】

日光公民館では、毎年この季節に人形劇を開催しており、今年で10回目を迎えました。今回も16組の親子が「じろっぽの人形劇」を見に集まりました。

人形と一緒に歌ったり、笑ったり、参加者みんなでほかほかの気分になりました。最後に子どもたちが「またきてね」と人形に話しかける姿が、とても印象に残りました。

文・写真：日光公民館

地域のニュースを募集します!!

このコーナーでは、皆さんから記事・写真の投稿を募集しています。

募集する記事　自治会の催しや、地域のちょっと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。

応募方法　記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付するか、持参でご応募ください。

○記事…140字程度（題名、日付、場所を別に記載してください）

○写真…紙焼き・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れるものは不可とします。

あて先　〒321-1292
日光市今市本町1番地
日光市役所企画部秘書広報課 広報広聴係
Eメールアドレス
hishokouhou@city.nikko.lg.jp